第 3 期広島市立大学塾活動報告【11 月 13 日】

情報科学部 1 年
小牧　篤史

グランドプリンスホテル広島で広尾学園中学校、広島学院中学校の生徒達と「平和」をテーマにディスカッションを行った。広尾学園中学校の生徒は修学旅行で広島を訪れ、資料館や実際に被爆者の話を聞いていた。そこで感じたことをみんなでそれぞれ意見を出し合い、平和について考えた。

今回そのディスカッションに我々が参加させてもらった理由は私たちに司会進行をしてほしいとのことだった。私を含め、ほとんどの市大塾生はそのような経験は浅かったため、もちろん不安もあった。しかし青木先生にこんな言葉を授かった。「司会をうまくするのは「予測と準備」だ」と。その話し合いをする上での知識はもちろん、どんな質問が来て、どんな意見が出るのか、そしてどのようにまとめればいいのかを予測することが大事だと教わった。そして実際司会進行をしてみて、この予測と準備がどれほど大切かを私は身をもって感じた。生徒達と話し合いを進める中で、次はどう話そう、どうまとめよう、と自分の準備を頼りに考えながら話を進めた。そして最終的に、平和のためには知ること、そしてそれを考え伝えていく、という私の伝えたかった事にもっていくことができた。またみんなの様々な意見が聞けたいい話し合いになったと個人的には思う。うまくいくか不安だったが「予測と準備」のおかげで満足のいく話し合いをすることができた。

他のグループではうまくいかなかったり、思い通りにいかなかったところもあったかもしれない。ただ司会の立場に立つとはどういうことか、どうすればいいのか、実際やってみて考えさせられたのはすごく貴重な体験だった。